

# みんなの議会

# 6月

定例会



特集

P 4

2年毎に改選される委員会

## 新委員会構成でスタート!

水道料金見直しへ ..... P3

10人が町政に問う 一般質問 ..... P6

タブレット端末を導入しました ..... P17



動画配信中

# 地域公共交通の充実などの予算計上

## 令和7年度一般会計補正予算（第1号）

令和7年第2回定例会を6月3日から13日まで開催しました。一般会計補正予算など町提案の12議案と議会提出議案1議案（決議）を慎重に審査しました。

一般会計予算に、第1号補正で2647万4千円を減額し、総額を168億2478万6千円としました。

北陽台東公園 遊具設置  
472万7千円

### 主な質疑

Q どのような遊具設置を予定しているか。

A 滑り台、2連の鉄棒、2連のブランコを考えているが、自治会の要望があれば、予算の範囲で変更もある。



遊具設置が待たれる北陽台東公園

モビリティ人材育成事業  
1502万円

### 主な質疑

Q モビリティ人材（※）育成事業の財源は全額国庫補助だが、国の計画と関係があるのか。

A 国として交通空白の解消という取り組みを進めている。地域の交通やまちづくりに取り組み人材の育成を行う都道府県市町村、事業者などに対して、その経費を支援するものだ。



勉強会やワークショップを経て人材を育成

### ※モビリティ人材

交通に関する知見や多様な関係者とのコーディネータースキルなどを活用し、地域の実情に即した交通サービスの実現に向けて取り組み貢献できる人材のこと。

新規就農者育成総合対策事業補助金  
217万2千円

### 主な質疑

Q 補助金の交付要件は何か。

A 独立自営就農する認定新規就農者であることや、経営開始5年目までに農業で生計が成り立つ実現可能な計画書の作成などがある。



新規就農者を支援します



全会一致  
可決

## 土地区画整理事業地の道路が供用開始

### 町道路線の認定について

高田南土地区画整理事業地内の区画道路を、道路法の規定によって町道に認定するものです。



委員会審査では幅員などが要件を満たしているか現地を確認

### 路線の認定とは

認定された道路が道路法上の特定された種類に属する道路となり、これによって始めて道路管理者が決定されます。道路管理者はその道路を管理する義務を負うので、すべての道路管理行為に先立つ重要な行為です。

全会一致  
可決

## 将来にわたる安定した水の供給のために

### 附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例

人口減少による有収水量の減少や設備の老朽化への対応が避けられない現状を反映した、安定した経営を持続するための水道料金の改定を協議検討するため、町水道料金等審議会を設置するための条例改正です。

### 主な質疑

**Q** 水道料金の見直しが必要である理由は何か。

**A** 今後20年の水道経営のシミュレーションを行ったところ、人口減少に伴う給水収益の減少や設備更新費用の増大などから、現在の料金では経営が難しいという結果が出たためである。

**Q** 審議会の委員はどのような人たちで構成される予定か。

**A** 大学教授などの学識経験者、社協などの公益団体を代表する人、自治会長や民生委員など水道利用者の立場を代表する人などを考えている。



老朽化で破損した本町の配水管（岡郷・平成30年）

# 新委員会構成で スタート！

新委員会がスタートしました。任期はいずれも2年間です。

## 総務厚生 常任委員会



西岡、藤田、下町、金子（委員長）、堤（副委員長）、堀、浦川、西田

総務厚生常任委員会は、行政運営や福祉・医療など生活に直結する政策の審査・調査を担っています。  
地域の暮らしをより良くするため、公共サービスの充実、子育て・高齢者支援の強化、安心・安全なまちづくりなど、変化の激しい時代に対応し、柔軟な視点を持ちながら多岐にわたる課題に取り組みます。

## 産業文教 常任委員会



岡田、竹中、山口、中村（委員長）、八木（副委員長）、安部、松林

産業文教常任委員会は、町の農業・産業の振興、道路や公園の維持管理、都市整備の建設産業部、地域の学校教育、生涯学習、スポーツ、文化に関わる教育委員会、安全な水の供給、下水道の管理を行う水道局を担当します。  
住みよいまちづくりのために、全力で取り組みます。

### 議会広報広聴常任委員会

議会広報広聴常任委員会は、議会だよりの編集や議会報告会、住民懇談会など広報広聴機能を担う委員会です。現在、フェイスブックやYouTubeを用いた情報発信や議会放映も実施しています。  
今後、さらに町民に親しまれる議会となるため、多様な広報手段を活用し、より多くの町民が議会と町政に関心を持つよう努めて参ります。

◎委員長 安部 都  
○副委員長 岡田 義晴  
委員 堀 真  
藤田 明美  
八木 亮三  
松林 敏  
西田 健  
浦川 圭一



## 議会運営委員会

議会を円滑に、また効率的に運営するために置かれる委員会であり、議長の諮問的な性格を帯びた機関です。

①議会の運営に関する事項

②会議規則、委員会に関する条例

等に関する事項

③議長の諮問に関する事項

などを調査研究します。また、議会運営の改善等に関する積極的調査などの役割もあります。

◎委員長

竹中 悟

○副委員長

堤 理志

委員

下町 純子

中村 美穂

金子 恵

山口憲一郎

## 長与町議会 ICT の推進に関する調査特別委員会を設置

目的

町議会における ICT 化の推進および ICT 技術を活用した議会運営、議会活動、議員活動を推進するための調査、研究。

経緯

本町議会は令和 7 年第 2 回臨時議会から、会議におけるタブレット端末の活用を開始しました。

議長より ICT のさらなる活用について議会運営委員会へ諮問があり、議会運営委員会へ活用について調査研究する特別委員会の設置を提案し、全員協議会で合意を得ました。その後、本会議で特別委員会の設置議案、委員の選任、いずれも議決しました。

◎委員長

堤 理志

○副委員長

松林 敏

委員

藤田 明美

八木 亮三

安部 都

金子 恵

## 令和 7 年第 2 回臨時会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第 3 1 号	長与町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第 3 2 号	長与町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）
第 3 3 号	長与町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認（全会一致）

## 令和 7 年第 2 回定例会の議案および議決結果

議案番号	議 案	審議結果
第 3 4 号	附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 3 5 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 3 6 号	長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 3 7 号	長与町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 3 8 号	長与町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 3 9 号	長与町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	可決（全会一致）
第 4 0 号	財産の取得について	可決（全会一致）
第 4 1 号	高田小学校法面対策工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第 4 2 号	古園地区急傾斜地崩壊対策工事請負契約の締結について	可決（全会一致）
第 4 3 号	町道路線の廃止について	可決（全会一致）
第 4 4 号	町道路線の認定について	可決（全会一致）
第 4 5 号	令和 7 年度一般会計補正予算（第 1 号）	可決（全会一致）
発委第 5 号	長与町議会 ICT の推進に関する調査特別委員会設置についての決議	可決（全会一致）

# 10人が問う

## 一般質問

質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。

## 一般質問の記事

質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内に要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

## 会議録の閲覧

会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与南交流センター、長与町議会ホームページで閲覧できます。

## 会議の 中継・配信

本会議の模様を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ [一般質問の動画にリンクした二次元コードを掲載しております。ぜひご覧ください。](#)

7	竹中	悟 議員	① 町長のリーダーシップについて
8	八木亮三	議員	① 立地適正化計画と今後のまちづくりについて ② 児童生徒および保護者の安心・安全のために
9	金子	恵 議員	① 小中学校体育館の空調設備設置について ② 資源化物回収の今後の取組について
10	岡田義晴	議員	① 姉妹都市ウェザースフィールド町の本町訪問について ② 小学校でのタブレット利用について
11	下町純子	議員	① 高田義務教育学校（仮称）について ② 役場職員・学校の教職員の産休・育休について
12	堤	理志 議員	① 物価高騰対策について ② 本町の実施事業の公平性について
13	安部	都 議員	① 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律の本町の取組みと体制について ② 高齢者の予防ダンスによる認知機能の強化改善と健康寿命延伸について
14	西岡克之	議員	① 本町の経済対策について ② 町への窓口での支払方法について
15	浦川圭一	議員	① 市街化調整区域における「50戸連たん」制度を活用した土地利用について ② 第1種低層住居専用地域における建物の高さ制限の緩和について ③ 高田南土地区画整理事業の完成に伴う新たな課税について
16	堀	真 議員	① 高田越交差点の渋滞対策について ② 本町におけるプロスポーツチームとの連携事業の実施について



# 町長のリーダーシップを尋ねる



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 100年安心のまちづくりに邁進

■議員 町長のリーダーシップについて尋ねる。将来像については、10年間の基本構想に基づき幸福度日本一のまちづくりを目指すところ

が、住宅政策なのか雇用を生み出す生産性がある活気ある街づくりをするのか、将来像がまったく見えない。より生産があり雇用ができる、独自の街づくりをする構想はないのか。

■町長 10年間の基本構想に基づき、100年安心のまちづくりに邁進する。

■議員 現行財政力指数は0・61と10年前からするとかなり落ち込んでいる。また、経常収支比率が93・71、起債残高も130億円で、財源に余裕がまったく無い。財政健全化対策を示せ。

■町長 財政シミュレーションを繰り返し、適正な事業構築とコストの管理を徹底し健全化に努める。

■議員 令和7年3月に丸田荘にてレジオネラ菌が検出された。この菌は非常に人体

に影響があり、危険な大腸菌である。休館の理由は設備点検と告知されていたが、なぜレジオネラ菌の事実を隠へいたのか。

■町長 利用者の不安を考え公表しなかった。休館などの事態が発生した場合には、適切な周知を行っていく。

■議員 副町長の人事については基本的に全会一致が適当であると思うが、信任しな

かった議員が5人、突然の上程に戸惑った議員が数人と他行政にない人事であった。このことをどう感じているのか。また、今後の行政運営に支障は出ないのか。

■町長 副町長には人柄、専門知識が求められることを踏まえ、後任人事には熟慮を重ねた。本人のさまざまな経験が、今後の町の行政運営にプラスになるものと考えている。



高台対策を

■議員 図書館等複合施設に対し、地元業者育成の対策はできているのか。

■企画財政部理事 落札業者に対し、文書で地元業者への優先的発注のお願いをしている。

■議員 今回の物件は1回目の入札で不発となり、2回目の入札も最低制限価格の約0・0053%上乗せで落札されている。6年に高田南はいつも簡単に20億円の値上げがあったが、今回はインフレスライドの可能性はないのか。

■理事 スライド条項を適切に運用していく。

■議員 高田南土地地区画整理事業はまだ道半ばである。住宅は1300軒を予定している。現状の高田地区の渋滞は把握しているのか。アクセス対策を示せ。

■町長 県、長崎市、時津町と本町で構成された長崎北部の渋滞対策協議会において、渋滞解消の協議を行っている。





やぎ 八木 三 議員

# 金属探知機での校庭の安全調査を



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 目視で点検しており必要ない

■議員 令和5年に杉並区の小学校の校庭で児童が釘を踏み大けがをし、同区が区立小中学校の校庭を金属探知機で調査したところ、63校から釘など5000点以上が発見された。当時、本町も同様の調査をすべきと教育長に提案したところ「目視で点検しており必要ない」と言われたが、今も必要ないと考えているか。

■教育長 日常的に目視による点検を行っており、これまでに残置された釘などでのけがも発生しておらず、金属探知機での調査は必要ない。

■議員 杉並区の事故は目視点検の翌年に起きており、目視には限界がある。1校70万円ほどで一回やるだけいいが、それでもできないか。

■教育委員会理事 当該事故を教訓に、教職員だけでなく児童生徒も共に入念な点検を行ったり、使用したペグ類は確実に抜くなどしており、安全は確保できていると考え



数ミリの釘でも大けがをすることも（写真はイメージです）

### 学校の防犯体制

■議員 教育週間中の学校公開の防犯面での懸念を指摘した元年の私の一般質問に対して教育長（当時理事）が「公開は続けるが防犯体制は強化したい」と答弁したが、具体的にどう強化したか。

■理事 受付に必ず教職員やPTAを常駐させ、どうしても無人になる場合は監視カメラで確認するようにした。

### 給食の量について

管理職員による巡視と訪問者への声かけも行っている。

■議員 小学生の子どもが給食が少ないと言っている、との保護者の声があるが、どう考えるか。

■教育長 発達段階に応じた適量を提供できていると考える。多い・少ないという声には、配膳量やおかわりなどで個別に対応している。

### 問 立地適正化計画策定の主な目的は

答 人口減対策や国費拡充などの3つ

■議員 7年度から策定に入る立地適正化計画は、メリットがある一方で実効性などに課題もある。本町が立地適正化計画を策定する目的は何か。

■町長 主に①人口減少・少子高齢化への対応②行政サービスの効率化③国からの補助金の確保・拡充の3つである。

■議員 立地適正化計画は商業・教育・医療などの都市機能および人々の居住を特定の区域に誘導するものだが、これにより周辺部の人の生活が不便になるなどの影響はあるか。

■都市計画課長 実際に人を一カ所に集約するようなことは無い。計画の目的は現在のコンパクトなまちづくりを維持し、人口減少など今後の課題へ対応する態勢を作ることだ。

■議員 国費率アップの対象としてウォークアプル（※）推進の取り組みがあるが、その一つとして町なかへベンチを点在させる施策を盛り込めないか。

■課長 上位計画の内容と合致するようなら検討はできる。

### ※ウォークアプル

歩く（walk）とできる（able）を合わせた造語で「歩きやすい」「歩きなくなる」の意味。





## 影響は 暑熱環境下の学校体育館



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

### 回答 身体 学習意欲に影響の可能性認識

■議員 異常気象の頻発や猛暑日数の増加が顕著な中、熱中症対策は急務となっている。

学校体育館は災害時の避難所にもなり得るため、児童生徒、地域住民の安全確保に直結すると考える。暑熱環境が与える影響についてどう考えるか。

■教育長 熱中症や脱水症状などの身体への直接的な影響、学習意欲の低下などの精神的な影響などの可能性がある」と認識している。

#### 避難所の観点

■議員 避難所の観点からも急がれるが、整備の優先順位はどう位置付けられているのか。

■地域安全課長 防災計画では良好な生活環境の確保とい



今年は熱中症が早い時期から・・・対策はしっかりと

う項目がある。その中で、国

が策定する指針を踏まえ必要な取り組みを推進すると記載がある。空調設備の課題も含め避難所生活のさまざまな課題については、国の指針などを参考に改善できるところから取り組みたいと考えている。

■議員 学校体育館の空調設備設置に関し、文部科学省の臨時特例交付金などについて調査、情報収集は行っているか。

■教育総務課長 国の令和6年度補正予算で創設された空調設備整備臨時特例交付金についても情報収集に努めている。避難所に指定された体育館の空調設置は補助率、補助単価は有利なもので、起債や交付税措置も同様に充実し

たものとなっている。

#### 輻射式空調 検討は

■議員 近年、輻射式空調(※)が環境負荷の低減、中長期的な運用コストの削減につながることから注目されている。導入する場合、選択肢の一つとして検討してはどうか。

■課長 輻射式冷暖房のメリットである無風・無音であること。そして、体に優しく温度むらが少ないこと、省エネの性能が非常に高く導入費用も数年で回収できることは、対流式と比較して調査の中で把握している。体育館空調においても有力な選択肢の一つとして考えられる。

■議員 防災・教育両面の観点から空調整備はもはや検討で済ませる段階ではない。臨時交付金が創設された現段階で予算計上を含めて早急に取り組むべきではないか。

■企画財政部長 優先順位を持つての予算要求であれば、緊急性が高いものには予算をつけていくという方針である。

問 今後の方針は  
資源化物収集方法

答 アンケート結果を  
踏まえ協議する

■議員 資源化物収集方法に負担を感じている住民も多い。今後の方針はどうしていくのか。

■町長 アンケートでは、ステーション収集への移行に54%がおおむね賛成という結果が出た。アンケート結果も踏まえながら、保健環境連合会、資源化物の受け入れ先である長与・時津環境施設組合と協議していく。



常設の回収所で利便性が高まりましたが…

※輻射式空調  
温度と輻射熱(放射熱)を利用して室内の温度を調整する冷暖房システム。



## 姉妹都市締結のきっかけは何か



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

### 回答 姉妹都市に立候補し選ばれた



未来へ向けてより確かな姉妹都市交流を

■議員 ウェザーズフィールド町との姉妹都市締結のきっかけは何か。

■町長 平成5年にウェザーズフィールド町の姉妹都市に立候補し、本町が選ばれたことがきっかけだ。

■議員 訪問団の構成人数、目的などは何か。

■町長 令和7年7月7日から4日間の期間で副町長夫妻の2名の表敬訪問が予定されている。これまでの文化、教育分野に加えて経済分野での交流の可能性についても協議をする。

■議員 滞在期間中の日程、計画はどうなっているか。

■町長 今年が被爆80年であることや、先方が平和事業にも関心があることから、初

日は平和の広場で献花、その後に歓迎レセプションを予定している。2日目は町内を案内し、経済交流として町内事業所との意見交換、会食、3日目は教育交流として、高田中学校・北陽台高校・県立大学シーボルト校の情報センターリテイ産学共同研究センターなどを訪問、4日目に帰国を予定している。

問 タブレット学習の  
具体的効果は

答 表現力や情報活用  
能力が向上した

■議員 タブレット導入によってどのような効果が見られているか。

■教育長 タブレットを利用した学習を通じて、児童生徒の表現力や情報活用能力は確実に向上している。

■議員 従来の紙媒体学習とのバランスを考えると、どのようにすれば学習効果や

学習意欲が向上するか。

■教育長 教員や児童生徒が学ぶ内容や方法に応じて、それぞれのメリットを生かし、適切に組み合わせることが学習効果を高め、児童生徒の学習意欲の向上につながる。と考える。

■議員 保護者が子供たちの家庭でのタブレット学習をサポートする時にどのような点に留意したらよいか。

■教育委員会理事 学校が示すタブレット学習についてのガイドラインの内容をよく理解してもらうことにより、子供たちへの見守りができる



タブレット学習で個別最適な学びを

と考える。

■議員 文部科学省も近年の子供たちの視力低下を受け、子供たちの目を傷めないように配慮するよう対策強化を示しているが、本町の対策はどうか。

■理事 特別な対策は取っていないが、良い姿勢で、30分したら休憩をとることや目とタブレット画面の間を30cm離すなど、従来の紙媒体と同じように指導している。このことについて保護者に支援、理解をもらいたいと思っている。





# 義務教育学校の学年の区割りは

## 回答 高田の未来を語る会で決める



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



義務教育学校ってどんな学校？

- **議員** 高田小中学校を2校分離型の義務教育学校にする構想があるが、小学校用地やプレハブ校舎建設費用を確保する考えはなかったのか。
- **教育長** 現役世代だけでなく将来にわたって過度な財政負担を課すことにならないよう長期的な視点が必要だ。
- **議員** 学年の区割りはどうなっているのか。
- **教育委員会理事** 今現在は決まっていない。高田の未来を語る会で決定する。
- **議員** 高田の未来を語る会はどのようなメンバーで構成されているのか。
- **理事** 学校運営協議会、学校支援会議のメンバーを中心に学校関係者、保護者、地域の代表、これに児童生徒が入った形で構成されている。
- **議員** この会に教育委員会からの参加はないのか。
- **理事** 1人だがオブザーバーとして参加している。
- **議員** 開校までに何回くらい会議をするのか。
- **理事** 4回の予定だが、

- 皆が納得するまで臨時の会を増やそうという前向きな話になったと聞いている。
- **議員** 高学年が中学校校舎に移ったとして小学校での図書、給食、飼育などの委員会活動をどうするのか。
  - **理事** 工夫すれば4年生でも活動できると思う。主体性を伸ばしたい。
  - **議員** 表に出にくい教員の負担が増えるのではないのか。
  - **理事** 授業のこま数については軽減が図られるものと考えている。
  - **議員** 2校分離型の学校での交流はどうするのか。
  - **理事** 具体的な教育内容なので決めるのは高田の未来を語る会になる。
  - **議員** 義務教育学校には小中両方の免許を持った教員を配置することになるのか。
  - **理事** 当分の間はどちらかの免許で構わないと国および県で決まっている。
  - **議員** 思春期ばかりの子供を最大5学年集めた区割り

- になった時の教員の生活指導などの負担についてはどうか。
- **理事** 発達段階に応じて丁寧指導していく。
  - **議員** 児童生徒数に見合った教員の配置を考えてほしいがどうか。
  - **理事** 県に人事の権限があるが、管理職含め定員以上の追加配置を要請したい。
  - **議員** 校長は常時どこに在籍するのか。
  - **理事** 校長の学校経営方針でやり方は変わってくるかと思う。
- 問** 産休育休は取りやすい環境か

**答** 職場環境づくりに努める
- **議員** 町職員が産休育休を取得しやすい職場環境になっているか。
  - **町長** 男女問わず産休育休の取得、子育てと仕事の両立がしやすい職場環境に努める。



# 物価高対策にプレミアム商品券を



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

## 回答 国の支援があれば協議 検討

■議員 健康ポイント事業の測定が女性専用店舗でも実施できるようになっている。食品、栄養剤、スタジオレッ

■議員 健康づくり推進の要素である

■議員 女性の美容は健康事業といえるか

■議員 物価高騰で住民は食料費、生活費で苦慮している。消費者、地元業者支援を目的に物価高騰対策が必要と考える。どのような対策を希望するか聴取した際に、恩恵を感じたとの感想が多かったプレミアム商品券を実施する考えはないか。

■町長 令和7年度予算での物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は、子育て支援、省エネ家電助成、給食費支援などに充てる予定である。商品券発行には一定費用が必要となる。今回の交付金では実施できないが、国からの支援措置があれば商工会などと協議し検討していきたい。

■議員 文化ホールで町の自主事業、講演会を実施しているが、舞台芸術、伝統文化、クラシック音楽系が少ないように感じる。プロによる文化、芸術を町民に提供するこ

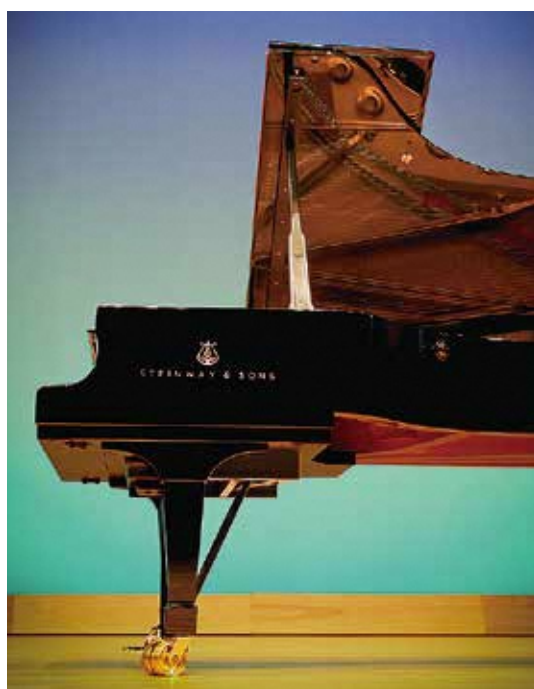
### 質の高い文化振興

スンの特典が付与され、美容の講座を受けられる内容もある。女性に多く見られる骨粗鬆症や更年期症状を緩和する健康講座であれば理解できるが、営利目的については疑問を感じる。見解はどうか。

■町長 過度な利益誘導を伴うことがないよう願っている。事業者負担で行っている特典は事業参加者を増やし、健康づくりを推進する要素と捉えている。

■議員 過度な利益誘導はしないようお願いしている趣旨の答弁があつたが、根拠を示してほしいがどうか。

■健康保険課長 募集要綱の事業者の責務に、利益誘導を伴うものの禁止を規定している。



町民文化ホールにある世界最高峰のピアノの音色をもっと町民に

とは、教育委員会や文化ホールの重要な柱と位置付けしてほしい。ホールの音響の良さを生かした演目やジャンルを広げ、さまざまな住民ニーズに応える工夫が必要ではないか。

■教育長 多く意見を聴きながら財源確保や収支バランスも考慮し、充実した文化芸術の提供に努めたい。

■議員 文化ホールにはスタインウェイのピアノがあるが、有効活用されているのか。

■生涯学習課長 演奏会に限らずピアノ発表会などでも活用されている。

■議員 文化ホールに素晴らしいピアノがあることを広く住民に知らせ興味をもってもらい、コンサートとタイアップなどすれば、文化、芸術の振興につながるのではないか。

■教育次長 今回の提案も含め幅広く検討し、文化芸術の発信に努めていきたい。





# 女性支援新法の見解は

## 回答 あらゆる方向から慎重に対応



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



女性たちへ！困りごとはいつでも福祉課に気軽に相談してね～

■議員 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」についての見解と課題は何か聞く。

■町長 女性は日常生活や社会生活を送るに当たり、女性であることでさまざまな困難な問題に直面することがあると考える。問題は性暴力、生活困窮、家庭関係破綻など複雑化、多様化しており、あらゆる方向から慎重に対応すべきと考える。課題としては、行政機関に相談することをためらい、状況が深刻化する場合が考えられる。課題解消のため、相談がしやすいよう、支援内容の周知や意識啓発に

努める。

### 女性相談支援員は

■議員 担当部署や女性支援センターの設置と女性相談支援員の構築はどうか。

■町長 DVに関する相談の所管は、福祉課になる。支援が必要な人が抱える問題は、生活困窮、障がい者福祉、母子保健、精神保健、高齢者福祉と複雑化しているため、こども政策課、健康保険課、介護保険課など幅広い所管が携わっている。また、女性相談支援センターや女性相談支援員の設置は、都道府県に義務付けられている。

■議員 過去5年間の相談や支援の要望などはどうか。

■町長 令和元年から6年度にかけて福祉課が把握しているDVや生活保護に関する相談は、夫からの避難や離婚後の金銭的不安、高齢者施設などへの入所についての相談など。

■議員 民間団体との協働による支援はどうか。

■町長 一行政ですべてを対応するには限界がある。町内や県内の民間団体が行う支援活動について十分に把握できていないことは課題の一つだ。支援が届くよう把握に努め、県や近隣市町と情報共有を行っていく。

■議員 同法による基本計画の策定についてはどうか。

■町長 県が7年3月に6年間の基本計画を策定している。その中で県と市町の役割が明確に示されている。市町においては基本計画の策定は努力目標であるので、策定は考えていない。

■議員 困難な問題を抱える女性への支援に関する条例の制定予定はないのか。

■町長 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るための理念や方針については法律にしっかりと規定されているので、町として条例制定の必要はないと考える。

### 基本計画の策定は

■議員 同法による基本計画の策定についてはどうか。

■町長 県が7年3月に6年間の基本計画を策定している。その中で県と市町の役割が明確に示されている。市町においては基本計画の策定は努力目標であるので、策定は考えていない。

■議員 困難な問題を抱える女性への支援に関する条例の制定予定はないのか。

■町長 困難な問題を抱える女性の福祉の増進を図るための理念や方針については法律にしっかりと規定されているので、町として条例制定の必要はないと考える。



予防ダンスで、元気生き生き！

問 予防ダンスに  
取り組む考えは

答 同様の効果がある  
事業を実施中

■議員 高齢者の認知機能の向上改善と健康寿命延伸のため、音楽に合わせた予防ダンスに取り組む考えはないのか。

■町長 予防ダンスは取り入れているが、同様の効果が見込まれる地域支援事業を実施している。今後も町民の健康寿命の延伸が図られ、健やかに暮らせるよう努める。



## 商品券発行で経済政策を



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

### 回答 今回は他の経済対策を実施



商品券で物価高対策を

■議員 本町の経済対策について質問する。現在、町民は相次ぐ物価高で日々の生活に大変苦しんでいる。一例を挙げると、卵は鳥インフルエ  
ンザで高騰、主食の米は過去  
最高水準になっており、野菜、  
食品加工品、ガソリン価格な  
ども高値に張り付いている。

今後さらなる価格上昇は避けられないと思う。そこで、即効性がある経済政策として、プレミアム付き商品券の発行は有効だと考える。商品券は期限付きで約半年で使用され、町内の事業者も恩恵が受けられる。消費が消費を呼ぶ。プレミアム付き商品券を発行

する考えはないか。

■町長 令和7年3月の消費者物価指数で、前年同月比食品7・4%、生鮮食品13・9%増と高騰している。本町でも国の物価高克服対応支援策として、交付金を活用し、町内小中学校給食費支援、第二子・三子の保育料無料化、保育所等副食費支援、省エネルギー型家庭用電化製品購入助成などを実施している。プレミアム商品券は、4、5年度に国の交付金を財源にして実施したが、事務費なども大きく伴うことから、今後国から支援措置があれば、商工会などと協議の上検討する。

問 キャッシュレスで  
窓口支払いを

答 7年度より一部実施

■議員 本町窓口での使用料、手数料支払いについては、現金のみの対応だが、世の中ではキャッシュレス払いが年々増加しており、自販機、交通機関などもスマート

フォンで支払いが可能だ。今後キャッシュレス払いはさらに増加していく。町民の利便性を考え、本町窓口でキャッシュレス払いができないか尋ねる。

■町長 窓口でのキャッシュレス決済対応は、情報政策課を中心に作業を順次進めている。7年度は、住民環境課と税務課の窓口での導入を予定している。これにより電子マネー、二次元コード、クレジットカードでの支払いが可能となる予定だ。今後とも町民への利便性を図るため、電子化、ネットワーク化を進めていきたい。





# 50 戸連担の条件を満たす区域は

## 回答 斉藤 丸田 三根の3カ所がある



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■議員 50戸連担制度（※）

を活用して土地の有効活用が図れないか考え、質問する。条件を満たす区域は何箇所あるのか。また、その可能性がある区域はどこか。

■都市計画課長 県が決定

するため、現段階では確実にできるとは言えないが、細かい条件は別にして町内には約3カ所、斉藤郷毛屋白津地区、丸田郷丸田谷地区の三菱アパート上の地域、三根郷の柳迫地域が50戸ほどあるのではないかと考えられ、可能性はある区域と考えている。

■議員 昭和46年に市街化

調整区域の指定が行われて、当時は市街化を抑制する地域として指定がされたのは間違っていないかとは思いますが、現状は周辺の状況が変わってしまっている。今後は町も緩和する方向で、国の制度に合わせて対応すればいいと思っているがどうか。

■課長 地域の実情を見ながら、提案のあった制度を検討したい。

■議員 確かに斉藤地区などは優良農地などが存在しているが、そういった農地などは区域に取り込めないとなっているので、そんなに広い範囲にはならないと思っている。

あくまでも地主の考えを尊重すべきだと思っているので、その人たちが区域指定を要望してきたときに、前向きに対応してもらえるのか。

■課長 今後要望があれば、地域の人たちの意見として参考とする。

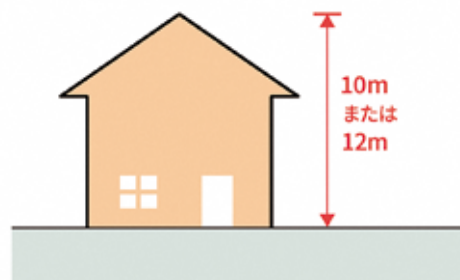
問 一種低層地域の  
高さ制限の緩和を

答 適切な見直しが必要  
慎重に検討

■議員 第一種低層住居専用地域での建物の高さ制限を、容積率が80%から100%へ緩和したことに伴い、10mから12mに緩和できないか。

■町長 住民にとって暮らしやすい環境は、生活形態や様式の変化に応じて変わるものであり、高さ制限も適切な

絶対高さ制限



高さ制限を12mにすることで、建築物の多様な計画が可能となる

見直しが必要と考える。しかし、良好な住環境を喪失する危険性もあり慎重に検討していく。

■議員 12mにすることで及ぼす悪影響はないと思うが、何かあるのか。

■都市計画課長 日当たり、風通しなどを考えて10mにしている。

■議員 10mに設定がされたのは容積率が60%の時代だと思う。現状100%になったことで、50坪の土地に建坪30坪の建物しかできなかった

ものが、50坪の家が建てられるようになっていく。3階建てでもできるような視野に入れるべきではないか。

■町長 今後検討に向けて考えていきたい。

問 高田南の課税を行う  
対応は万全か

答 万全の対応で  
事務を進める

■議員 高田南土地区画整理事業の完成に伴い、新たに作られた土地の課税が8年より行われるが対応は万全か。

■町長 予定通りできるよう、万全の対応で事務を進める。

※50戸連担制度

市街化調整区域内において、おおむね50戸以上の建物が連担している地域については、特例として土地開発が許可される制度。



# 高田越交差点の渋滞対策は

## 回答 渋滞箇所を協議している



この二次元コードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



高田越交差点の渋滞はいつ解消されるの？

■議員 いよいよ高田南の土地区画整理用地の宅地の造成が終わり、本町の人口増加や高田郷の発展が期待されている。同時に、高田越トンネルから高田越交差点にかけて、特に朝の時間帯と夕方時間帯で交通渋滞が起きており、土地区画整理事業による世帯数の増加によってさらに渋滞が増すのではないかと、懸念の声も上がっている。

令和4年に同僚議員が行った高田越交差点の渋滞対策緩和についての一般質問に対して、信号機のタイミングを調整したと町は答えていたが、渋滞が改善されていないように感じる。渋滞対策協議会で現在行われている協議の内容を尋ねる。

■土木管理課長 渋滞箇所の洗い出しやその渋滞の緩和に向けたそれぞれの対策をそれぞれで進めている。

■課長 一般的な対策としては、ハード面で言うと、新しく道路を造るということ、既存の道路の改良を行うことであり、道路を拡幅して車線を増やしたりして車の流れをスムーズにすることがあげられる。ソフト面で言うと、信号サイクルの最適化が考えられる。

■議員 協議会は年に何回開催されているか。

■課長 年に1回程度で多くて2回行っている。

■議員 渋滞解消の対策案はあるか。

■課長 ハード面で言うと、新しく道路を造るということ、既存の道路の改良を行うことであり、道路を拡幅して車線を増やしたりして車の流れをスムーズにすることがあげられる。ソフト面で言うと、信号サイクルの最適化が考えられる。

■町長 本施設管理者から、内容を同じくしたサンクスマッチの開催が難しく、今後は形を変えて連携事業ができないかという提案をもらっている。本町のみならず県を対象とした共同事業や、連携に関する協議の場であるプロスポーツクラブ長崎自治体連携会議が設置され、新施設においても実現可能な共同事業について、意見交換を進めている状況である。今後も事業者との協議を深め、町の情報発信や出店、協賛も含め、本町としても何ができるかを検討を進めていきたい。

問 プロチームとの連携事業は  
答 今後協議を深めていきたい  
議員 6年まで某プロサッカーチームの試合で長与

町サンクスマッチが開かれていたが、7年は開かれていない。試合を行うスタジアム会場が諫早市から長崎市に移転し、週末の日中開催では平均1万人もの観客を動員する大きなイベントになっているが、今後も本町のサンクスマッチを開催したり会場を出店したり協賛してチームと連携事業を進めてはどうか。

2025年（令和7年）6月定例会

ながよ町議会だより

No.194



## ハラスメント防止のための研修会

令和7年3月24日に自治体議員のコンプライアンス・ハラスメント防止と題した研修会が2部構成で行われました。

講師に弁護士の中田望氏を迎え、第1部では、自治体議員に求められるコンプライアンスと題して、自治体議員は、住民によって選ばれた代表という自覚を持ち、

と強調されました。この研修を受け、今後より一層の自覚をもってハラスメント防止に取り組んでいきたいと思えます。

公人として人権に対する強い意識を持つべきとの示唆を頂きました。また、第2部では、ハラスメントに関する重要問題と題して、地方議会女性議員の3人に1人がセクハラ被害にあっていることやハラスメントが法令違反であるという意識のない議員が、まだ一定数いるとの指摘がありました。また、議会内では、議員は対等の立場であり、議員と自治体職員の間にも上下関係は存在しない



絶対駄目！ ハラスメント

## タブレット端末を導入しました

ICTを活用し、議会活動の効率化や質の向上を目的に、令和7年3月からタブレット端末を導入しました。ペーパーレス化、資料や情報の共有の迅速化、災害時にも議会を継続できる体制づくりを推進します。

システムは操作研修会を実施し、全議員が実践的に操作を学びました。今後は会議資料の閲覧や検索などにも活用し、より質の高い議論と効率的な議会運営を目指します。

導入に当たり、講師を招き会議



議員全員に貸与されたタブレット

次の定例会は **9月2日(火)** 開会の予定です。

## 長与町議会（議員定数16）

皆さまの傍聴をお待ちしています。

質問を聞き、議員それぞれの個性があるのだと感じた（60代女性）

やはり、予算があつての住民サービスだと思った（60代女性）

6月議会の傍聴者は

延べ **5人** でした



後列： 堤 理志 竹中 悟 西岡克之(副議長) 安藤克彦(議長)  
 中列：八木亮三 松林 敏 西田 健 浦川圭一 中村美穂 安部 都 金子 恵 山口憲一郎  
 前列：下町純子 堀 真 藤田明美 岡田義晴

### 議長交際費

(令和7年4月1日～6月30日)

弔 慰 ..... 44,000円(2件)  
 慶 祝 ..... 40,500円(8件)  
 その他(視察研修土産) ..... 2,927円(1件)

支出合計 87,427円(11件)



6月14日(土)から15日(日)にかけて、長与町民文化ホールにて、長与町文化協会様が主催する文化発表会が開催されました。写真は、芸能部門で披露された、とても勇ましい本川内琴ノ尾太鼓保存会の皆さんです。

表紙の  
写真

### 編集後記

現議員の任期が残すところ2年となり、広報広聴委員も新メンバーとなっております。  
 ところで、「反問権」という言葉を存じでしょうか。住民の皆様にはなかなか聞きなれない言葉だと思いますが、本町においては町長ほか町の職員が、議長の許可により議員の質問に対して論点・争点を明確にするため、反問することができるとしております。双方が質問でき、対等なやり取りの考えから、執行部にも活発な反問権の活用を期待し、質の高い政策論争で議会活動に臨んでまいります。

(浦川 圭一)

### 議会広報広聴 常任委員会

委員長 安部 都  
 副委員長 岡田 義晴  
 委員 堀 真  
 委員 藤田 明美  
 委員 八木 亮三  
 委員 松林 敏  
 委員 西田 健  
 委員 浦川 圭一



この「ながよ町議会だより」は、環境に配慮し揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。